

広報



2009
(平成21年)

まつざき

6

No. 541



ぎょうみ しんしん
初めて見るしゃくなげに興味津々！

松崎町みどりの少年団（8人）が、富貴野山から長九郎山へ
自然体験ハイキングに出かけました。（5/9）

南伊豆地区一市三町 新市基本計画

将来像：「人と自然と多彩な回廊がきらきら輝く

ふる里発信空間」をめざして

南伊豆地区一市三町合併協議会では、下田市、河津町、南伊豆町、松崎町の合併後のまちづくりを総合的かつ効果的に推進するための方針を定め、合併後の新市の円滑な運営の確保および均衡ある発展と、住民福祉の一層の向上を図ることを目的に、新市基本計画を策定しました。

概要版につきましては既に各戸配布させていただいておりますが、再度ご紹介させていただきます。

合併の背景と必要性

地方分権時代を迎えている中で、これからの市町村は自らの責任と判断で、地域の特性を十分に活かし、主体的に行政を進めていくことが必要になります。

現在、国から県へ、そして

県から市町村へといろいろな事務や権限が委譲されていますが、住民生活に密着した、

より多くの事務に対応するため、行政体制や財政基盤を充実強化し、自治体としての政策形成能力をより一層高めていくことが求められています。

次に、当町においても少子高齢化が進み、昨年の四月一日現在での高齢化率は三四・八割で、約三人に一人が六十歳以上の高齢者となっており、県内でも上位五番目に位置しています。

また、少子化の面では、生徒の減少から、近年小学校の統合が進み、来年にはこれまでに四校あった小学校が一校となります。

これらの急速な進行は、社

会経済のあり方に大きな影響を及ぼし、特に、保健、医療福祉といった分野での行政の役割や負担が、ますます大きくなることが予想されます。

このため、それらに対応した行財政力の強化や、専門的で高度なサービスを安定的に提供できる体制づくりが急務となっております。

そして、国・地方における厳しい財政状況への対応や、周辺市町との地域間競争への対応が求められています。

現在、市町村合併が進んできている中で、合併による自治体規模の拡大を図り、産業振興や生活環境の充実、自然・歴史資産の活用など、地域の特性を活かした、新たな発展の方向を目指す体制の整備が求められています。

合併の効果

合併をすることにより、市町長などの特別職や議会議員、各種委員会等委員の総数も減少し、行政組織の再編による一般職員の削減等、経費の削減が可能となり行財政運営の効率化が図られます。

また、行政規模の拡大によ

り、専門的な職員を配置するなど、住民サービスの質の向上が可能になります。

そして、一市三町は経済・文化・生活の面で結びつきをもっており、それぞれが有する豊かな自然環境や観光資源等を活かして広域的な観光ネットワークを一層強化することが可能となり、広域的な観点に立ったまちづくりが進められます。

まちづくりの進め方

新市のまちづくりでは、一市三町が取り組んできた総合計画によるまちづくりの方向性を基本とし、それぞれの個性と魅力を大切にしたまちづくりを推進します。

また、地域住民と行政との協働により、住民の意思や自主性が尊重される住民主体のまちづくりを進めます。

新市の基本方針

四項目の基本理念を掲げ、まちづくりを進めていきます。

- 人と自然が花ひらく誰もが住みやすい安心なまちづくり
- ずっと住みたくなる活力

あふれる元気なまちづくり

- 未来を担うあたたかい人材を育むまちづくり
- 市民の思いを活かしたまちづくり

新市のまちづくり

六項目の基本目標を定め、それぞれの目標ごとに具体的な施策を掲げ、まちづくりを進めていきます。

- 豊かな自然に包まれたやすらぎを誇れるまち（自然・環境）
- 暮らしやすさが実感できるまち（都市基盤・生活環境）
- 観光交流から広がる元気と活力にあふれるまち（産業）
- 地域を誇れる豊かな心と文化を育むまち（教育・文化）
- 人々が支え合い誰もがいきいき元気なまち（健康・福祉）
- 市民の知恵で未来を拓くみんなのまち（市民参加・行政運営）

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

松崎町生涯学習だより

社会教育事業について

松崎町の社会教育は、「学習の生涯化」「学習の地域化」を基本理念として、住民の皆さまが、自ら課題を解決し、自己を高めていく学習活動を進めていきます。学習を通じて、「豊かな自然と文化の薫る町づくり」に参加する体制を築くことを目標にしています。

学習機会の充実を図るための各種事業をご紹介します。

① 生涯学習教室

今年度は八種類の生涯学習教室（下記）の開設を予定しています。募集など詳細につきましては、広報お知らせ版に掲載させていただきます。

② 生涯学習塾

町民の皆さまが、自ら講師となり受講生を募る生涯学習塾の開設を随時受け付けています。生涯学習塾は、受講生の立場からでも開設することが可能です。教育委員会が講師探しをお手伝いします。

③ 子育てサポーターリーダー

松崎町には、県の認定を受けた子育てサポーターリーダーが七人います。サポーターリーダーの方は、学校や地域で長い間、子どもと関わってきた方ばかりです。家庭教育について聞きたいことやご相談等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

④ 生涯学習サポーター

皆さまに体験の機会を作っていたいただける学習サポーターを募集しています。

例えば、歴史、昔遊び、工作、書道、茶道、パソコン、自然観察、栽培活動など、これならと思った方は、

① 学校で子どもを対象

② 社会教育で一般の方を対象

③ 子どもでも一般の方でも三つのいずれかを選び連絡してください。サポーターとして登録させていただき、学校や社会教育で要請させていただきます。

楽しい生け花教室

～エコを取り入れた生け花～

四季折々の生け花を行います。

- 【講師】文化協会華道部員
【日程】全4回（6，9，12，2月）
【募集】20名（親子での参加可）

いづこいし作り

海岸で拾った小石にイラストを貼り、コーティングして仕上げます。

- 【講師】青森千枝美さん
【日程】6月下旬
【募集】20名（親子での参加可）

初心者のための陶芸教室

湯のみや茶わん、お皿など陶芸の作品づくりをします。

- 【講師】鈴木義弘さん
【日程】全4回 7月～8月
【募集】20名（親子での参加可）

漆喰こて絵体験

名工・入江長八の文化に触れます。こてを使って作品を仕上げます。

- 【講師】長八美術館職員
【日程】9月
【募集】20名（親子での参加可）

始めよう！読み聞かせ

子どものために本を読むことを通して、読み聞かせについて情報交換をします。

- 【講師】星野美雪さん
【日程】全3回 9月～10月
【募集】15名

松崎歴史探検

～松崎村の成立と依田家～

16世紀以降の松崎の歴史を学習します。

- 【講師】近藤二郎さん
【日程】全2回 10月
【募集】20名（学生の参加も可能）

絵画入門

スケッチを通して、対象物の見方や色づくりなど絵画の基本を勉強します。

- 【講師】矢部芳治さん
【日程】全5回 10月～
【募集】15名

手作り年賀状教室

版画で用いる技法を使い、手作りの年賀状を作ります。

- 【講師】佐藤美晃さん
【日程】全5回 11月～12月
【募集】15名

特定健診の結果について

特定健診は、四十歳から七十四歳までの国民健康保険に加入するすべての方を対象に、平成二十年度から、各医療保険者に健診を実施することが義務付けられ、メタボリックシンドロームに着目した特定健診、特定保健指導がスタートしました。

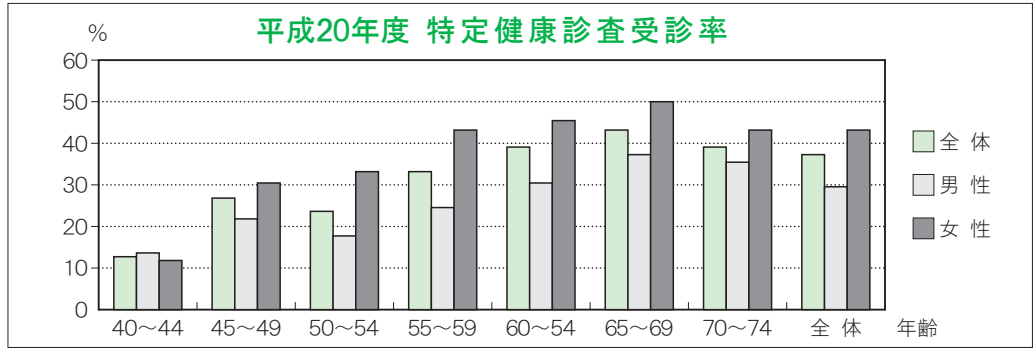
受診率は三十六・五割

健診の受診率は加入者二千四百六十八人のうち、受診者九百二人で受診率は三十六・五割でした。

年代ごとみると六十代は四十一・四割、七十代は四十・四割と高い状況ですが、四十代、五十代の受診率は十九・六割、三十割と低く、若い世代の受診率向上が課題です。また、男性の受診率がどの年代でも女性の受診率を下回っていました。

また、男女別にみると四十代の男性が十七・五割、五十代の男性が二十一・九割と特

に低い傾向にあります。



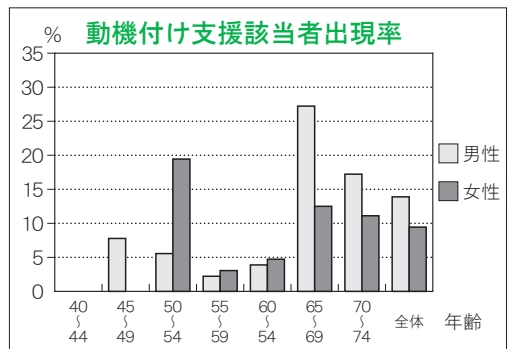
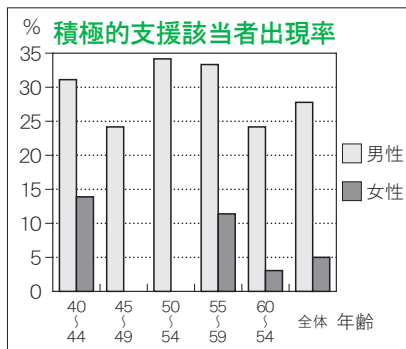
健診結果はメタボリックシンドロームの判定基準によって特定保健指導の三つのレベルに分けられ、そのレベルに合わせた保健指導を受けることとなります。

メタボリックシンドロームの出現は三十三・一割（三人に一人）

町の健診結果はメタボリックシンドロームの出現率が三十三・一割ですが、すでに糖尿病・高血圧症または脂質異常症の薬剤の服用をしている方が多いため、積極的支援は十三・六割、動機付け支援は十・九割となっていました。

積極的支援はどの年代でも男性が高く、特に四十代、五十代の出現率が三十・六割と非常に高くなっています。動機付け支援は五十代前半の女性が目立ちました。

町では、一月から積極的支援十二人、動機付け支援二十三人の方に特定保健指導を実施し、現在生活習慣改善の目標を立て、取り組んでいるところと見直したり、動くことを心がけるなど意識改善して、すでに体重の減少、腹囲の減少の効果が現われている方が多数います。



生活習慣病にかかる人全体の数が減れば医療費を抑制できます。六月から特定健診が始まりますので、昨年受けた方も今年こそ是非、受診するようにしましょう。

【問合せ】
健康福祉課（42） 3966

「ねんきん定期便」 を受け取られた皆さまへ

社会保険庁では、平成二十一年四月より、国民年金・厚生年金の現役加入者の皆さまを対象に、「ねんきん定期便」の送付を開始しました。「ねんきん定期便」は、毎年誕生月に送付されます。

ただし、月の初め（一日）生まれの方は、誕生日の前月に送付されます。
※四月一日生まれの方は、平成二十二年三月が初回の送付となりますのでご注意ください。

お知らせする内容

- 【平成二十一年度】
- ①年金加入期間
 - ②年金見込額
 - 五十歳未満の方

加入実績に応じた年金見込額

五十歳以上の方
「ねんきん定期便」作成時

点の加入制度に引き続き加入した場合の将来の年金見込額 ※既に年金受給中（全額停止も含む）の方には、年金見込額はお知らせしていません。

- ③保険料の納付額
- ④年金加入履歴（共済以外）
- ⑤厚生年金すべての期間の月ごとの標準報酬月額・賞与額、保険料納付額
- ⑥国民年金すべての期間の月ごとの保険料納付状況

【平成二十二年以降】

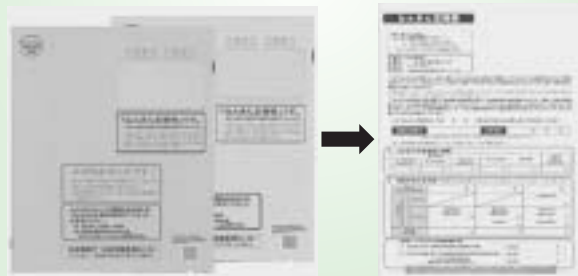
節目年齢時（三十五歳・四十五歳・五十八歳）の方々は、平成二十一年度と同じ内容（前記①～⑥）の記録を更新してお知らせします。

節目年齢以外の方は、前記①～③について更新してお知らせします。⑤、⑥の内容については、直近一年分をお知らせします。

「ねんきん定期便」とは

年金記録を定期的にご確認いただけるよう、国民年金・厚生年金の現役加入者の方にお送りするものです。平成21年4月から、2色の封筒により、誕生月にお送りしています。

- オレンジ色の封筒：年金記録に「もれ」や「誤り」のある可能性の高い方
- 水色の封筒：それ以外の方



「ねんきん定期便」で確認できることは

- これまでの年金加入期間（共済組合の期間は記載してありません。）
- 加入実績に応じた年金見込額（年金受給（受給停止の方も含む）の方は記載してありません。）
- 年金加入履歴（共済組合の期間は記載してありません。）
- これまでの保険料納付額
- 国民年金保険料の納付状況
- 厚生年金保険の標準報酬月額等の月別状況

ご自分の年金記録等についてご確認ください。

「ねんきん定期便」の封筒の色はオレンジ色、水色の二色です。どちらの色で送付されてきても、内容を十分にご確認ください。

特に、オレンジ色の封筒で送付されてきた方は、年金記録に（もれ）や（誤り）のある可能性の高い方なので注意してご確認ください。

確認した後の手続きとしては、同封されています《年金加入記録回答票（青色・白色）》にて回答していただきますが、

青色の回答票が同封されていた方は、記録に（もれ）や（誤り）がある場合も必ず回答していただく必要があります。

また、白色の回答票が同封されていた方は、（もれ）や（誤り）がある場合のみ回答をお願いします。

※以前「ねんきん特別便」にて記録訂正の回答をした方は、改めて同様の回答をする必要はありません。記録訂正の調査結果が届いていない場合、

その記録は「ねんきん定期便」には反映されていませんので調査結果を今しばらくお待ち下さい。

【問合せ】

・ 定期便専用ダイヤル

0570（058）555

※ 受付時間

（月曜～金曜）九時から二十時
（第二土曜日）九時から十七時

・ 三島社会保険事務所

055（973）1444

・ 健康福祉課保険年金係

（42）3966

操法大会へ向けて

消防団員訓練中

平成二十一年六月十四日

(日)に東伊豆町稲取漁港防波堤において賀茂支部操法大会が開催されます。

この大会は、二年に一度開催され、賀茂郡内の一市五町の各消防団の代表が、消火活動の基本となる規律やポンプ・ホースなどの操法の正確さとスピードを競います。

今回の大会に松崎町からは、ポンプ車操法に第一分団第一小隊(松崎)が、小型ポンプ操法に第三分団(中川)が出場します。

選手たちは、操法大会に向け、五月七日(木)から日曜日を除く毎晩午後七時三十分から、町訓練指導員のもと、総合グラウンド等で訓練に励んでおります。
練習、大会本番とも皆さまのご声援をお願いします。

【問合せ】
総務課(42) 3963

選手紹介

〔ポンプ車操法〕

○出場隊

第一分団第一小隊

○選手

指揮者 鈴木 幸(南区)

一番員 森 崇彦(南区)

二番員 関 洋介(中区)

三番員 石田 良(北区)

四番員 松本佳人(北区)

補助員 光岡雅浩(中区)

真野寿基(中区)

〔小型ポンプ操法〕

○出場隊

第三分団

○選手

指揮者 山本尚敬(那賀)

一番員 斎藤一憲(峰輪)

二番員 佐藤勇氣(船田)

三番員 松田 朗(那賀)

補助員 細田照夫(峰輪)

渡邊明浩(船田)



松崎文芸

— 短歌 —

はにかむもはしやぎまわるも四歳は
四歳なりの己あらはす

平馬文枝

老いの手にしまひてやれぬ風鈴が
師走の風にやさしく鳴れり

中村宣子

七十余年すぎこし今も母の味
知らず育ちし哀しみのあり

端山きち枝

すりばち
播鉢の濃きとろろ汁囲みたる
里をまなうらに風の音を聞く

山本しづ子

山道にて摘みし零余子むかごを仏壇の
夫に供へぬ好物たりし

飯野ふさ

老い吾の終の旅行と計画す
長く思ひあしクアラランプールへ

坂倉のぶ

ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

4月27日に高齢者福祉に役立ててほしいと神奈川県在住の匿名希望の方より100万円の納税をしていただきました。



制度開始から9件、259万2千円の納税をしていただきました。

ありがとうございました。

～ まちのできごと ～



5/1～6 「田んぼをつかった花畑」無料花摘み

那賀耕地の「田んぼをつかった花畑」では、5月1日から6日までの連休期間中を花摘みに無料開放し、多くの来場者で賑わいました。



5/10 第7回高通山ハイキングつつじまつり

高通山では、「第7回高通山ハイキングつつじまつり」が開催され、訪れた人たちは見頃を迎えたヤマツツジを楽しみました。



5/16・17 赤根田村百笑の里田植え祭

石部の棚田では、県内外から約450人のオーナー、トラスト会員が集まり、地域の人たちと一緒に田植えを行いました。



5月上旬から 桜葉の収穫作業始まる

町内各所にある桜葉畑では、日本一の生産量を誇る桜葉の収穫作業が始まり、農家の方々は一枚一枚丁寧に摘み取っていました。

三浦地区のホタル

ソメイヨシノや花畑のワイルドフラワーなどさまざまな春の花が終わり、夏を迎える準備に追われる時季となりました。

初夏に向けて、来町される観光客の皆さまにホタル観賞を楽しんでいただくことと中川、岩地、石部、雲見地区では町おこしを考えるさまざまな人々が一生懸命になつてホタルを増やし、観賞場所の整備に尽力しています。

なかでも、雲見地区の旧雲見焼却場跡地を公園として整備した花沢公園横の小川では、雲見地域おこしの会の皆さまが、ホタルの幼虫と餌になるカワニナを放流した効果もあり、時季になるとホタルの大乱舞を見ることが出来ます。

また、岩地駐車場の山側にある谷間のせせらぎでは、自然発生している

たくさんホタルの優雅な飛翔が眺められます。

さらに、石部の棚田では、数こそは少ないけれど、水が張られ、田植えの終わった田んぼの水面へ、飛び交うホタルが映り込み幻想的であります。

三浦地区のホタルの名所を、ご存知ない方もあろうかと思ひ、紹介をした次第です。

町長室からこんにちは ⑨⑩



松崎町長
深澤 進

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成21年4月30日現在)
()内は前月比

総人口	8,130人 (-14人)
男	3,852人 (-7人)
女	4,278人 (-7人)
世帯数	3,145戸 (+15戸)
転入	28人
転出	34人
出生	1人
死亡	9人

町の交通事故

平成21年4月発生分
()内は前年同月比

人身事故	5件 (+2)
物損事故	11件 (+3)
死者	0人 (±0)
傷者	5人 (+2)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
伏倉	神鳥つや子	87	寶
雲見	美澤みつ子	90	喜實夫
道部	玉井都夫	82	幾代
江奈2	渡邊正策	70	信行
船田	石田勝	66	白柳仁
伏倉	藤沢榮八郎	76	福田さちえ
宮内	土屋幸男	83	正司
江奈2	真野とく	91	望月勤之助

戸籍だより (4月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
雲見	陽斗 <small>ひる とと</small>	男	鈴木辰徳



※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

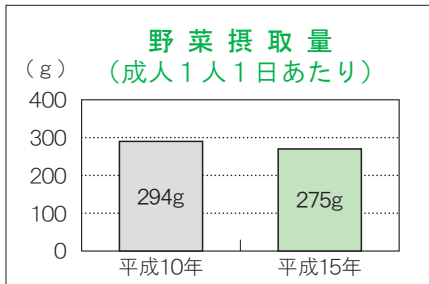
六月は「食育月間」です!

近年、人々のライフスタイルや価値観が多様化する中で食事が不規則となり、食習慣の乱れから、肥満や生活習慣病が増えています。

こうしたことから、町では町民一人ひとりに「食」についての意識を高めていただくよう、家庭、学校、地域などさまざまな立場の関係者と連携して食育を推進しています。

特に、生活習慣病の予防には一日三百五十gの野菜摂取が必要とされていますが、静岡県民の平均摂取量は二百七十五gと大きく下回っています。

食育月間を機に野菜の摂取を心がけるよう、ご家庭の食卓を見直してみましよう。



野菜大好き!! 食育キャンペーン ～野菜をいっぱい食べよう～

地域交流通信

松本市安曇地区から

桜の花に誘われて

四月十九日(日)、第二回島々町会桜祭りが行われ、陽光うららかな島々谷川の岸辺には、大勢の老若男女がまるで「花開けば蝶枝に満つ」のごとく集い、春風に揺れる桜の下は、酔客のよもやま話にも花が咲きました。

隣近所や幼馴染、また、この日のために帰省した人たちが、思い思いの場所を陣取り、山里の短い春を楽しんでいます。満開の桜並木に誘われ、

飛び入り参加の観光客の姿も数多く見られました。

今年も天候や桜の開花時期に恵まれたからなのか、町会人口以上の人数に驚かされました。

人間関係が希薄になりつつある今、隣近所や友人、地区外に居住する家族などが顔を合わす機会を提供することが、大切だと感じました。

(島々町会教養部 大野修)



松本市安曇地区のソメイヨシノが満開になる時期は、松崎町的那賀川堤より二〜三週間遅くなります。
(観光商工担当係 米田秀俊)